

第 182 回（3月）定例会一般質問通告書

順番	25	氏名	金城 善英	質問方式	一括	一問一答（事項別・要旨別）	質問の要旨	答弁者
1	施政方針から						市政運営の基本方針で、平成27年度策定の「名護市人口ビジョン及び名護市総合戦略」を踏まえ若者世代の流出抑制、地域経済の活性化、出産・子育て支援等、将来像を見据えた施策を打ち出すことで総合戦略の実現に向けて取り組んといかれるとのことです。その中の若者世代の流出抑制については、出産、子育て、教育、就職、住宅など、定住条件の整備が大切と考えます。そのなかで、教育環境の整備においては、難関国公立大学や難関私立大学へ進学するために中南部の高校へ進学する中学生の流出があるようです。スポーツにおいても同様なことがあります。今年4月から中高一貫教育校として南部には沖縄県立開邦中学校、中部には沖縄県立球陽中学校が開校されます。	
	(1)						そこで、北部地域における中高一貫教育校の設置について	
2	教育・子育て支援について						市長は、今年平成28年度の施政方針の中で、行政課題と市民ニーズは日々変化しますが、柔軟な思考と大胆な実行力で、常に「すべては子どもたちの未来のために」「すべては未来の名護市のために」との基本理念をお示しになられました。これは2年前の二期目の市長就任以来、一貫して訴えておられます。また、市長は教育・子育て支援について、すべての家庭が安心して子育てができる名護市を実現していくための取り組みを推進していくことになります。私も強い共感を感じます。今こそ、早急かつ実効性のある施策が必要と考えます。子育て・教育は待たなしさります。本市は、今年4月から、子どもの貧困対策に取り組む専門のプロジェクトチーム（PT）を立ち上げ、対策を強化することになります。そこで、	
	(1)						(1) 子どもの貧困対策プロジェクトチームの取り組みについて	
	(2)						(2) 児童扶養手当制度の拡充と支払月（年3回）の改善について	
	(3)						(3) 母子及び父子家庭等医療費助成事業の自動償還方式の導入について	

質問の事項	質問の要旨	答弁者
(4)	子ども医療費助成事業の窓口での支払いのない現物支給方式の導入について	
(5)	子ども医療費貸付制度について	
(6)	放課後児童健全育成事業補助金交付実施で交付時期の改善について	
(7)	放課後児童クラブの利用料低減について	
(8)	放課後児童クラブを小学校内に設置することについて（公的施設活用について）	
(9)	出前児童館（子ども広場推進事業）の取り組みについて	
(10)	旧名護幼稚園園舎のトイレの改善（洋式化）について	
(11)	子どもの居場所の整備で児童センターのあり方について	
(12)	保育士の確保に向けての保育士試験対策講座の実施について	
(13)	自動償還方式導入病院を拡大することについて	
3	防犯対策について	<p>(1) 平成27年第180回9月定例会において取り上げましたが、犯罪の未然防止や抑止力、犯人の早期検挙に有効な手段としての防犯カメラの設置については関係機関との調整が図られたのかお伺いします。そこで、防犯カメラの設置について伺います。</p>
4	道路の安全対策について	<p>(1) 大中区公民館前交差点の市道名護59号線始点の横断歩道の移設について</p> <p>(2) 大中3-16-9前横断歩道東側縁石の改善について</p>